別紙１

令和８年度　雀宮東小学校　学校評価書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤として，新たな時代をたくましく創造的に生きていくことのできる，心身ともに健康で，思いやりのある心豊かな児童を育成する。

・目指す児童像

１　豊かな人間性の育成　**《心豊かで素直な子》**
自他の生命を尊重し，健康で安全に行動するとともに，社会の中でたくましく生きていくことのできる能力や態度を育成する。

２　自ら学ぶ能力や態度の育成　**《よく考え進んで学ぶ子》**
自らよく考え正しく判断し，創意工夫して的確に行動し，全力を出すことができる能力や態度を育成する。

３　体力と気力の増進　**《健康でがんばる子》**
自らの健康に関心をもち，心身ともに健やかな体を育めるような能力や態度を育成する。

４　自主的・自律的な態度の育成　**《決まりを守り責任を果たす子》**
学校集団の中で自分のよさを知り，よさをより伸ばそうとしたり，集団の一員としてよりよい生活を築こうとしたりする能力や態度を育成する。

（合言葉）
すなおで
かしこく
たくましく
責任果たす　ひがしの子

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

雀宮東小学校の歴史と伝統を重んじ，**「すなおで　かしこく　たくましく　責任果たす　ひがしの子」**の育成を目指し，学校・家庭・地域が一体となって，創意工夫をこらした教育活動を展開し，誰もが安心して学べ，活力にあふれる，地域とともにある学校づくりを推進する。

・目指す学校像

◆楽しく充実した居がい感のある学校　◆子供と教師が共に育つ学校　◆地域とともにある魅力ある学校

３　学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（１）《活力あふれる楽しい学校づくり》

○　児童一人一人のよさを認め，児童にとって居がい感のある活力あふれる楽しい学校づくりに努める。児童一人一人を大切にする教育を具現化するため，地域や児童の実態に即した創意工夫ある教育課程の編成に努める。また，教育者としての愛情と使命感をもった教師力の向上に努める。

・特色ある教育課程の編成・運用・改善　・教職員の資質の向上
・認め励ます教育の充実　・学年，学級経営の充実

（２）《豊かな心の育成》

○　全教職員の共通理解のもと，のみどり活動を中心とした体験活動を充実させるとともに，道徳教育・読書活動の充実を図り，児童一人一人に感謝の心や思いやり，想像力などの豊かな心を養う。

・体験活動の工夫と充実　・「特別の教科　道徳」の充実　・読書活動の推進

（３）《確かな学力の定着》

○　分かる授業の展開と基礎・基本の確実な定着，学び合う時間の充実に努め，児童一人一人の学ぶ意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図る。

・学びに向かう力の育成（知識・技能の習得，思考力・判断力・表現力等）
・基礎・基本の定着　・自分の考えを深める学習の充実　・家庭学習の習慣化

（４）《健やかな体の育成》

教科体育を核に体力・気力を養う教育の充実を図り，健康で安全に生活できる能力・態度を育成する。

・基礎体力の育成　・教科体育の工夫と充実　・危機回避能力の育成

（５）《児童指導の充実》

○　決まりやマナーを守り，いじめを許さず，児童一人一人が自分で考え行動しようとする態度を育てる。

・規範意識の醸成　・いじめを許さない態度の育成　・不登校対策の取組の充実

（６）《特別支援教育の充実》

特別支援教育の視点に立った授業改善を図り，全校体制で配慮を要する児童への支援の工夫に取り組む。

・特別支援教育の視点に立った授業改善　・特別な支援を要する児童への支援の工夫

（7）《地域とともにある学校づくり》

○　家庭・地域・地域学校園との連携を密にし，地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

・地域との交流活動の充実　・情報の効果的な発信　・雀宮地域学校園における小中一貫教育の推進

【雀宮地域学校園教育ビジョン】

一人一人が自らのよさを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成

～いきいきとした活動を通して人とつながる～

（8）《勤務時間を意識した働き方の推進》

新しい時代の教育に向けた学校における働き方の推進に向けて，適切な勤務時間の設定ができるよう改善を図り，校内の業務の効率化・簡略化に努めるなど校内業務の適正化に努める。

・校内業務の適正化・効率化　・教職員の勤務時間管理の徹底

・金曜日課及びリフレッシュデーの充実　・保護者や地域の教育資源等の有効活用

・業務量管理・健康確保措置の実施

4　教育課程編成の方針

（1）日本国憲法，教育基本法，学校教育法，小学校学習指導要領等の教育関係諸法令並びに「とちぎ教育ビジョン（2026-2030)」「宮っこ未来ビジョン 2.0」「第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和８年度指導の重点」等の示すところに従い，公教育の立場を堅持した教育課程を編成する。

（2）本校創立以来 153 年の歴史と伝統を踏まえ，児童の実態や学校の特色や地域のもつ豊かな教育力を生かして，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指すため，教科等横断的な視点に立ち，各教科・外国語科・特別の教科道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図った教育課程の編成に努める。

（3）本年度の学校教育目標，学校経営方針，努力点や具体策，学校課題の具現化を図るとともに，学校教育の活性化を図る特色ある教育課程の編成をする。

5　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（1）学校運営

学校・家庭・地域の連携を基盤とし，児童一人一人が自らのよさを発揮しながら生き生きと学べる学校づくりを推進する。校内の業務の適正化に努め，勤務時間を意識した働き方を積極的に推進するとともに，教職員が持てる力を発揮し，チームとして動ける学校づくりに努める。

（2）学習指導

個を生かした豊かな学び

～児童が主体的に学びに向かうための教師の授業コーディネート力の向上～

（3）児童生徒指導

○　豊かな心と正しい判断力をもち，自ら進んで行動できる児童の育成

（4）健康（体力・保健・食・安全）

○　生涯を通じて健康な体を維持し，体力・気力を向上していくための基盤づくり

～自分の健康に関心をもち，進んで健康・体力の増進に励むとともに，

自他の安全に配慮できる児童の育成～

６　自己評価　A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価 表中数字：上段は令和７年度 下段は令和８年度 太数字：前年度比±5ポイント
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答８５％以上	①　「学習のきまり」を効果的に活用しながら，基本的な学習態度の定着を図る。 ②　学習のねらいを明確化し，「分かる授業」の具体的方策を工夫し実践するとともに，振り返りの時間を設けることで，授業力を高め，学力向上を図る。 ③　授業において，子ども一人一人が自分の考えをもち，友達と意見を伝え合い，自分の考えを深める学習が行えるようにする。 ④　「家庭学習の進め方」を効果的に活用しながら，学習習慣の定着を図る。また，家庭学習パワーアップウィークを実施し，保護者の理解と協力を得る。		【達成状況】 児童：94.3 / 教職員：100 / 保護者：**91.3** / 地域： 【次年度の方針】
１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，思いやりの心をもっている。」 ⇒児童の肯定的回答８５％以上	①　「よい子の一日」「学習のきまり」を指導場面に合わせて活用し，規律ある学校生活が送れるようにする。 ②　学級活動，特別の教科道徳等において，言葉遣いの大切さについて計画的に指導する。 ③　友達同士で呼び合うときに「～さん」を付けることを指導する。 ④　保護者・地域住民に「特別の教科道徳」への理解と協力を得るため，授業参観等で全学級授業の公開を行う。 ⑤　児童の自己肯定感を高めるため，にっこりさんカードを使用し，帰りの会等で他人の良さを認め，励まし，称賛する機会を増やす。		【達成状況】 児童：94.8 / 教職員：100 / 保護者：96.6 / 地域：100 【次年度の方針】
	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答９０％以上	①　小テストや朝の学習の時間（すずどんチャレンジ）等を通して，漢字や計算の定着を図る。 ②　運動能力検定表（水泳・鉄棒・なわとび）の積極的な活用を図る。 ③　「宮っ子心の教育表彰」等を活用し，児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。		【達成状況】 児童：93.8 / 教職員：100 / 保護者：89.0 / 地域： 【次年度の方針】

１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒児童の肯定的回答９０％以上	①　運動量を確保した体育の授業づくりや休み時間等，一日一回は外遊びができるように努める。（運動ミニマム・元気っ子チャレンジへの継続的な指導） ②　「元気なときは歩いて登下校」の指導を全教職員共通理解のもと推進していく。 ③　食育だより，保健だよりの配付や，養護教諭の授業への参画等の継続的な指導を通して，健康の保持・増進に努めようとする態度を育てる。 ④　学校栄養士の授業への参画や，お昼の校内放送での「給食一口メモ」により，児童の栄養についての意識を高める。 ⑤　避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施するなどして，体験活動を通した安全教育を推進する。さらに，様々な災害時における避難方法を保護者に周知し，連携を図る。		【達成状況】 児童：94.3 / 教職員：100 / 保護者：92.4 / 地域：100 【次年度の方針】
１－（４）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。」 ⇒児童の肯定的回答９０％以上	①　児童の自己肯定感を高めるため，にっこりさんカードを使用し，他人のよさを認め，励まし，称賛する機会を増やす。 ②　学級活動，特別の教科 道徳等において，協力することの大切さについて計画的に指導する。 ③　「宮っ子心の教育表彰」等を活用し，児童のよさや努力などを認め励ます教育を推進する。		【達成状況】 児童：94.8 / 教職員：95.7 / 保護者： / 地域： 【次年度の方針】
２－（１）グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童の肯定的回答８０％以上	①　ALT を積極的・効果的に活用し，外国語活動の授業や ALT との交流において，英語のやり取りを中心とした活動を展開する。 ②　外国語活動を通して，異なる文化や習慣を理解し，それらを尊重する能力や態度の育成を図る。		【達成状況】 児童：84.4 / 教職員：100 / 保護者： / 地域： 【次年度の方針】
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，宇都宮の良さを知っている。」 ⇒児童の肯定的回答８５％以上	①　生活科や社会科，宇都宮学，特別の教科　道徳，朝の歌等において，雀宮地区や宇都宮市など，地域を教材にした活動を計画的に実施する。 ②　街の先生や地域ボランティア等による読み聞かせや校外学習，のみどり活動など，地域の人材や施設・設備等の教育力を生かした学習を充実する。 ③　地域協議会を有効活用し，地域コーディネーターを中心に，学校を支援するボランティアを募り，学校・家庭・地域との連携，協力を深める。 ④　毎月の宮っ子ランチにおいて，市教育委員会が作成した動画資料等を活用するとともに，宇都宮の旬の地場産物についての説明を行い，理解を深める。		【達成状況】 児童：87.7 / 教職員：95.7 / 保護者：71.2 / 地域： 【次年度の方針】

２－（２） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上	①　学習意欲の向上や学力の定着を目指し，教材・教具，ＩＣＴの活用による分かりやすい授業の展開に努める。 ②　全職員でＩＣＴ活用法に関する情報を積極的に共有し，教職員の資質・能力の向上を目指す。 ③　読書への関心・意欲を一層高めるため，調べ学習に図書資料を活用したり，司書やボランティアによる読み聞かせを開催したりする。		【達成状況】 児童：91.0 教職員：100 保護者：85.7 地域： 【次年度の方針】
２－（３） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童生徒は,『持続可能な社会』について，関心をもっている。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上	①　種まき，田植え，稲刈り，どんど焼き等，のみどり活動に取り組み，自然への感謝の気持ちを培う教育活動に取り組む。 ②　クリーン活動や毎日のゴミのリサイクル等，環境維持を意識させる教育活動に取り組む。 ③　社会科や総合的な学習の時間，特別の教科　道徳，学級活動等を通して，環境問題や SDGs の理解を深める。		【達成状況】 児童：93.4 教職員：95.7 保護者： 地域： 【次年度の方針】
３－（１） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は，特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答８５%以上	①　ケース会議により，学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的・日常的に検討し，児童一人一人のニーズに応じた指導を行う。 ②　ユニバーサルデザインの視点にたった授業展開を行い，どの児童にも分かる授業を目指す。 ③　授業の始めに本時のめあてを明示し，児童自身が学習の見通しをもって，授業に臨めるようにする。 ④　通常学級，かがやき，にじいろ（特別支援学級），のみどり（通級指導教室）の連携を効果的に行い，特別支援教育の充実を図る。		【達成状況】 児童： 教職員：100 保護者： 地域： 【次年度の方針】
３－（２） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。」 ⇒保護者の肯定的回答８０%以上	①　いじめ防止基本方針に基づき，全教職員が共通理解のもと，日頃から情報交換を行い，全校体制でいじめ根絶に取り組む。 ②　年間４回のアンケート調査や教育相談，Ｑ－Ｕを活用して，いじめの早期発見・解消に努める。 ③　いじめゼロなかよし標語の募集・いじめゼロなかよし集会などを通して，児童が主体となっていじめを根絶しようという意識を育てる。		【達成状況】 児童：98.6 教職員：100 保護者：88.7 地域：100 【次年度の方針】

	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上	①　お互いのよさを認めあう「にっこりさんカード」を活用し，児童がともに認め励まし合うクラスをつくる。 ②　児童のよさや頑張りを認め励ますことで，安心して活動に取り組めるようにしていく。 ③　教育相談やアンケート調査を実施し，児童の実態を把握するとともに，不登校を生まないよう，一人一人の児童を大切にし，児童がともに認め励まし合う学級経営を行う。 ④　教職員同士が情報交換を密に行うなどして児童理解を深め，一人一人のニーズを把握して，適切かつ迅速に指導・支援する。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 97.2 / 100 / 93.6 / ／ ／ 【次年度の方針】
３－（３）外国人児童生徒等への適応支援の充実 ３－（４）多様な教育的ニーズへの対応の強化	Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。」 ⇒児童の肯定的回答９０%以上	①　学校生活全体を通して，児童が活躍する場，発達段階に応じて主体的に活動する場を意図的に増やしていく。 ②　学びに向かう学級集団を育成するため，一人一人の学習意欲を高める工夫をするとともに，互いに認め合う安心感のある学級経営に努める。 ③　正しい言葉遣いと挨拶，返事は，「その都度」，「その場で」指導することに全校体制で取り組む。（「あいさつすずどん」の実施）		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 95.7 / 100 / 94.7 / 100 【次年度の方針】
４－（１）教職員の資質・能力の向上	Ａ14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は，分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。」 ⇒教職員の肯定的回答８５%以上	①　学ぶ意欲の向上と基礎・基本の確実な定着を図る授業を目指し，児童同士が学び合う場を設けたり，学力テストの結果分析を活用したりするなど，指導方法の工夫・改善に取り組む。 ②　「雀宮東小学習スタンダード」を活用し，分かりやすい授業や児童一人一人へのきめ細かな指導を行う。 ③　発達の段階に応じて，宿題を適切な量にするとともに，「家庭学習の記録」を活用して，家庭での協力を働きかけ，家庭学習の習慣付けをする。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 97.2 / 100 / 86.0 / ／ ／ 【次年度の方針】
４－（２）チーム力の向上	Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答９０%以上	①　学校に関わる職員全員がチームとなり，学校行事等において，協力して業務に取り組む。 ②　多様な専門性を有する学校スタッフの参画に当たっては，学校経営方針の具現化に向けて活用する。 ③　児童指導情報交換会を週に１回行い，児童の実態把握や支援方策，役割分担について，教員と学校スタッフが共通理解する。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 ／ / 95.7 / ／ / ／ ／ / ／ / ／ / ／ 【次年度の方針】

<table>
<tr>
<td>４－（３）
学校における働き方改革の推進</td>
<td>Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケートの「勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」
⇒教職員の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①　教職員は，勤務時間（退勤時刻を意識する。）を意識して，業務の効率化に取り組む。
②　授業時間の確保に努め，前年度の反省や各行事の記録を生かしながら教育課程を実施する。
③　事前の打合せや事後の振り返りをしっかりと行い，適宜教員の業務を縮減する。
④　ICT を活用し，職員会議や校内掲示板などにおいて，時間短縮や業務削減を行う。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td></td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童生徒と向き合う時間を確保できている。」
⇒教職員の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①　教員業務支援事務（市会任職）に教員が行う補助的業務を効果的に依頼し，教職員の負担軽減を促進する。
②　学校支援ボランティアを有効に活用するとともに，効果的な依頼内容について検討する。
③　デジタルドリルや授業における ICT 活用等，校務 DX による業務の効率化を図る。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>５－（１）
全市的な学校運営・教育活動の充実</td>
<td>Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は，『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている。」
⇒保護者の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①　教職員の乗り入れ授業（中→小）を積極的に行い，中学校への移行をスムーズにする。
②　地域学校園における共通の取組（衛生チェック・給食マナー週間・あいさつ運動等）を推進し，各種たよりや学校ホームページで周知する。
③　地域学校園において，各部会で情報交換を実施する。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>92.6</td><td>100</td><td>77.4</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>５－（２）
主体性と独自性を生かした学校経営の推進

５－（３）
地域と連携・協働した学校づくりの推進</td>
<td>Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。」
⇒地域住民の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①　効果的な学校開放のあり方を工夫し，土曜授業，「うつのみやオープンスクール」等の学校公開を実施する。
②　地域協議会と連携して学校支援ボランティアを広く募集し，教育活動の充実を図る。
③　ＰＴＡ，地域協議会，地域学校園などと連携を図りながら，地域・家庭と共働して教育活動の充実を図る方策を工夫する。
④　学校だより，学年だよりなどの定期的な発行に加え，ホームページを定期的に更新するなど，積極的に情報発信する。また，地域協議会等の活動について，より一層効果的な広報を行う。
⑤　校外学習やオンライン授業で企業等と連携し，教育活動の充実を図る。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>94.3</td><td>100</td><td>92.5</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr>
<td>６－（１）
安全で快適な学校施設整備の推進</td>
<td>Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケートの「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」
⇒保護者の肯定的回答８０％以上</td>
<td>①　災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知，避難訓練等の危機管理に関する情報を，保護者や学校施設利用者に周知する。
②　全教職員が毎月の安全点検を行い，利用する人が安全に活動できる環境づくりに取り組む。
③　校舎内外の整備保全や，教材教具の整備に努め，学習意欲を高めるとともに，学習内容に沿った教室掲示を心がけ，学びに向かう環境を整備する。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table>
<tr><th>児童</th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th></tr>
<tr><td></td><td>100</td><td>87.0</td><td>90.0</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>６－（２）
学校のデジタル化推進</td>
<td>Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。
【数値指標】
全体アンケートの「コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。」
⇒教職員の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①　情報教育担当者を中心として，職員研修等で，デジタル機器の利活用についての共通理解を図る。
②　ＩＣＴ支援員を活用し，デジタル機器の整備や児童の活用に対する支援等を推進する。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table>
<tr><th>児童</th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th></tr>
<tr><td></td><td>100</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等</td>
<td>Ｂ１　児童は，時と場に応じたあいさつをしている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，時と場に応じたあいさつをしている。」
⇒保護者の肯定的回答８５％以上</td>
<td>①　集会等の活用，「あいさつすずどん」の合い言葉，掲示物や生活当番による呼びかけなどを通して，あいさつの大切さについて児童への啓発を行い，児童の意識を高める。
②　当番学級によるあいさつ運動を実施し，児童の意識を高める。
③　地域学校園と連携したあいさつ運動強化週間を実施し，児童の意識啓発を図る。
④　保護者・地域の方など，来校者への積極的なあいさつを推進していく。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table>
<tr><th>児童</th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th></tr>
<tr><td>93.8</td><td>100</td><td>86.2</td><td>90.0</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。
【数値指標】
全体アンケートの「児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。」
⇒児童の肯定的回答８５%以上</td>
<td>①　「よい子の一日」を効果的に活用しながら，時と場に応じた言葉遣いや目上の人に対する言葉遣いについて指導する。
②　生活目標の周知や振り返りの仕方などについて，児童が主体となった活動を展開して，児童一人一人がきまりやマナーを意識して生活できるようにする。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table>
<tr><th>児童</th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th></tr>
<tr><td>93.4</td><td>100</td><td>94.8</td><td>100</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
</table>

	Ｂ３　児童は食事の時マナーをしっかり守っている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は食事の時マナーをしっかり守っている。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上	①　食育に関する資料を活用し，継続して食に対する関心を高める指導を行う。 ②　地域学校園及び本校独自の食事マナー週間を計２回実施し，マナーへの意識を高める。 ③　地域学校園で統一献立を実施したり，食育だよりを発行したりして家庭での食育への啓発を行う。 ④　地域学校園統一のおにぎりの日やお弁当の日を実施し，家族で食への関心を高める機会を作る。 ⑤　「雀宮の日」に学校園共通の「ちゅんちゅんランチ」を実施し，地域の農産物への理解や生産者への感謝の気持ちをもたせる取組を行う。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 93.4 / 100 / / / / / / / 【次年度の方針】
	Ｂ４　児童は，様々な教育活動に主体的に取り組んでいる。 【数値目標】 全体アンケートの「児童は，様々な教育活動に主体的に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上	①　運動会や遠足，縦割り班での活動，児童会活動，学級での係活動等において，児童の意見を反映させたり主体的な活動の場を設定したりする。 ②　代表委員会の活動を通して，児童が自分たちの力で学校をよくしていこうとする意識をもてるようにする。 ③　児童の自己肯定感を高めるため，にっこりさんカードを使用したり，帰りの会で「今日のにっこりさん」の時間を活用したりして，よさを認め，励まし，称賛する機会を増やす。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 96.7 / 100 / 89.7 / / / / / 【次年度の方針】
	Ｂ５　児童は，歯の健康に関心をもち，食後進んで歯みがきをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は，歯の健康に関心をもち，食後進んで歯みがきをしている。」 ⇒児童の肯定的回答８５%以上 ※アンケート結果，教職員による観察結果等から総合的に評価	①　歯みがきタイム（黒板掲示資料と歯みがき動画）を確保し，給食後のブラッシングの継続と推進を図る。 ②　養護教諭や学校歯科医，学級担任が連携して，健康への関心を高める指導の工夫をする。 ③　保健だよりに歯の健康に関する情報を載せ，歯みがきの習慣化やむし歯の早期治療についての啓発を図る。 ④　歯みがきカレンダーや児童の保健給食委員会の活動により，歯みがきへの関心を高める。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 96.2 / 100 / 73.2 / / / / / 【次年度の方針】
	Ｂ６　恵まれた自然環境を利用しながら，体験活動を通して地域に学び，地域のすばらしさに気づき，大切にしていこうとする児童を育成している。 【数値指標】 全体アンケートの「恵まれた自然環境を利用しながら，体験活動を通して地域に学び，地域のすばらしさに気づき，大切にしていこうとする児童を育成している。」 ⇒教職員の肯定的回答８５%以上	①　種まき，田植え，稲刈り，どんど焼きなど，農業体験活動「のみどり活動」を年間を通じて実施し，自然に親しみ，地域を大切にしていこうとする自覚をもった児童の育成を図る。 ②　ＰＴＡや地域協議会との連携を十分に図り，学校・家庭・地域が協働して教育環境の整備に努める。 ③　社会科や理科，生活科，総合的な学習の時間，特別の教科道徳等における学習や，草花・野菜等の栽培活動を通して，自然や生命を尊ぶ心を育てるとともに，雀宮地域に対する郷土愛を醸成する。		【達成状況】 児童 / 教職員 / 保護者 / 地域 95.0 / 100 / 89.1 / 100 96.7 / 100 / 91.1 / 100 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。